

## 快挙！吹奏学部が日本一に！ ～少しずつ以前の学校生活へ～

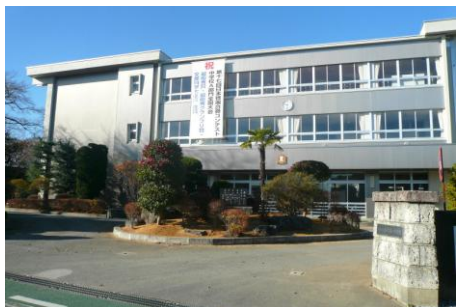
南相馬市立原町第一中学校

〒975-0007 校長：高篠 忍

南相馬市原町区南町三丁目23番地

☎ 0244-22-4144

Fax 0244-24-2039



原一中校舎



管楽合奏コンテスト



原町一中は原発事故による緊急時避難準備区域内にあったため、鹿島小学校体育館で学校生活を送ってきました。登下校はスクールバス5台に分乗、教室は体育館の中に、展示パネルで9つに区切ったもの、体育や音楽の授業、そして部活動は、隣接した千倉体育館で、週1回程度行うだけの不自由な学習環境でした。

このような環境の中、多くの部活動の活躍がありました。その中でも吹奏学部は、11月5日に東京で開催された第17回日本管楽合奏コンテスト中学校A部門において、『最優秀グランプリ賞・文部科学大臣賞』の日本一の栄冠に輝きました。この賞は部員35名の実力とチームワーク、そして何よりも集中して練習に取り組んだ努力の成果だと思います。この受賞は、私たち原一中だけの喜びでなく、この被災地を元気づける大きな力になっていくものと思います。

緊急時避難準備区域解除後、本校舎で学校再開し、2ヶ月が経とうとしています。生徒は約半数が避難していましたが、そのうち1割を超える生徒が戻ってきて、1・2年生で年度途中の学級増を行ったところです。保護者・地域の協力のもと、生徒の活躍と教職員の努力で、少しずつ以前の学校生活を取り戻しつつある原町一中です。

## 生活のリズムを戻し

## 新しい原二中をつくっていく！

南相馬市立原町第二中学校

〒975-0032 校長：濱名新一

南相馬市原町区桜井町一丁目152番地

☎ 0244-22-4188

Fax 0244-24-2176

4月22日に全校生119名で、学校を再開（鹿島中学校で）しましたが、生徒数と学級数が減少し、兼務発令により何人かの先生を送りださなければなりません。その後、生徒は少しずつ戻ってきて7月には140名になりましたが、鹿島中学校の柔剣道場と会議室での学習活動は、暑さと狭さなどに悩まされる日々でした。部活動は6月から体育館で行い、なんとか中体連の大会に参加することができました。

8月には4ヶ月遅れでの人事異動があり、学級担任や部活動顧問を替えなければなりません。8月29日には鹿島中学校の校庭に設置されたユニット校舎へ移動し、保護者の理解と協力により、2学期に何とか修学旅行を実施することができ3年生にとって良い思い出になりました。

10月17日には緊急時避難準備区域の解除に伴い、原町第二中学校の校舎に戻り学校を再開することができました。放射線の影響を考慮して屋外での活動に制限はありますが、時間的にも施設的にも、ほとんど通常の学習活動を行うことができるようになりました。少し遅れて11月に実施した後期生徒会総会で、生徒会長が掲げた生徒会の活動目標は、『生活のリズムを戻し、新しい原二中をつくっていく』というものでした。生徒数は1月10日には187名になりました。



鹿島中での授業



修学旅行



後期生徒会総会